

本気でやる！ 変革する医療現場とのリスク・コミュニケーション —安全性の専門力で対応する—

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

【講演内容】

13:00～13:05 開会挨拶 寺尾 允男(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団会長)

13:05～13:55 医療現場におけるリスク・コミュニケーション

林 昌洋(虎の門病院薬剤部長)

13:55～14:45 わが国のリスク最小化策の現状と今後

北島 行雄(株式会社CAC クロア執行役員 RMP ビジネスコンサルティング事業部長)

14:45～14:55 休憩

14:55～15:45 医療現場で研究論文の批判的吟味はどこまでできるか ～医療関係者のリテラシー～

中山 健夫(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野教授)

15:45～16:35 リスク・コミュニケーションへの誘い～各国の動向から～

山本 美智子(昭和薬科大学臨床薬学教育研究センター長、医薬品情報部門教授)

16:35～17:30 総合討論：リスク・コミュニケーションの有るべき姿を求めて
—添付文書の先にあるもの—

共同司会：青木 事成(中外製薬株式会社医薬安全性本部安全性データマネジメント部副部長
疫学グループマネジャー)

津田 重城(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団専務理事)

【日時および場所】

平成 28 年 7 月 15 日(金) 13:00～17:30

日本薬学会 長井記念ホール (東京都渋谷区渋谷 2-12-15 地下2階)

リスク・コミュニケーションは、製薬企業・行政—医療従事者、医療従事者—患者、製薬企業・行政—患者といった様々の形があり、広範な問題に関わります。しかしながら、多くの場で行われている議論が、目に見える形で実際の改善に役立っているかについては、疑問が持たれるところです。

現在では、インターネットの普及、ビッグデータの活用等 IT 技術の進歩は目覚ましく、一部の患者は最大の関心事である自らの健康問題について直接情報を入手できる時代になっています。また、製薬企業の様々な部署が作成する多様な適正使用情報が医療関係者に提供されており、重要な役割を果たしている反面、結果として医療現場では情報の氾濫状態を招いている懸念があります。このような中、米国 FDA ではリスク・コミュニケーション戦略を 2009 年に公表し、コミュニケーション戦略を着実に実装しつつあり、外国では医療従事者向けの分かりやすいリスク・コミュニケーションに関する書籍もあり、関心の高さが窺われます。しかし、わが国においては、リスク・コミュニケーションのあるべき姿については製薬企業の視点からは深く検討されていません。そこで主として医療従事者への情報提供者である製薬企業従事者に対して、「医療現場での現状」を把握していただく機会を設けました。

この機会を通じて当財団では「本気でやる！ 変革する医療現場とのリスク・コミュニケーション」研修会をシリーズとして開催することとしました。RMP を含む医薬品に関する医療現場とのリスク・コミュニケーションについて、一緒に考える機会となれば幸いです。本研修会の趣旨にご賛同いただき、多数のみなさまにご参加いただきますようご案内申し上げます。

本気でやる！ 変革する医療現場とのリスク・コミュニケーション —安全性の専門力で対応する—

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

後援 一般社団法人 日本病院薬剤師会
日本製薬団体連合会
日本製薬工業協会
公益社団法人東京医薬品工業協会
大阪医薬品協会

日本 OTC 医薬品協会
日本ジェネリック製薬協会
米国研究製薬工業協会(PhRMA)
欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan)
一般社団法人日本 CRO 協会

一般社団法人日本医薬品卸売業連合会
公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財団
公益財団法人 MR 認定センター
日本 CSO 協会

【申込要領】

1. 申込方法

受講希望の方は財団ホームページ (<http://www.pmrj.jp>) より申込手続きを行ってください。

- ①ホームページ研修事業内「開催一覧」の研修会毎にある【申込】ボタンより、画面の案内に従って必要事項をご入力ください。
- ②申込完了後、受付番号及び入金方法をメールにてお知らせいたしますので、受講料をお振込みください。
- ③受講料お振込みを確認した時点で、参加登録が完了いたします。入金確認メールをお送りいたしますので、研修会当日には**入金確認メール(受講票)**を印刷し、ご持参ください。

2. 受講料(消費税込)：要旨集代を含みます。

- | | |
|--|----------|
| ・法人会員(法人会員は1口につき4名が会員扱い)／個人会員 | 12,000 円 |
| ・レギュラトリーサイエンス エキスパート認定に係る登録者(PV・MA 分野対象) | 10,000 円 |
| ・非会員 | 17,000 円 |
| ・行政／アカデミア／医療機関／学生 | 5,000 円 |

※受講者の方は、以下の書籍および DVD を特別価格でご購入いただけます。申込手続き時に、案内に従ってご購入ください。

●映像で学ぶ薬害シリーズ「薬害の知識と教訓」(DVD)

<新刊>日本の薬害事件(文部科学省特別選定作品)----- 88,500 円
スモン事件(文部科学省特別選定作品)／クロロキン事件-----各 44,000 円

- PV の概要とノウハウ ----- 7,400 円
- 知っておきたい薬害の知識 ----- 1,700 円
- 知っておきたい薬害の教訓 ----- 2,400 円
- 日本の薬害事件(日英対訳版) ----- 9,300 円
- 基礎から学ぶ医療経済評価 ----- 5,500 円

- 日英対訳 日本における医薬品のリスクマネジメント
第2版-----11,000 円
- 温故知新 ～薬害から学ぶ～(DVD)
筋短縮症-----各 4,600 円
サリドマイド／薬害エイズ事件／陣痛促進剤による被害／
薬害肝炎事件／ソリブジン事件-----各 7,400 円

3. レギュラトリーサイエンス エキスパート認定単位

医薬品関係企業、行政機関、アカデミアおよび医療機関等の皆様に、最新の情報や知識等に関する研修の機会を利用し、研修実績を客観的に認定することで個人のモチベーションを高めスキルアップの持続を図っていただく制度です。当財団が行っている所定の研修会受講者をレギュラトリーサイエンス エキスパートとして認定いたします。

登録・認定の対象分野にはMA、開発、PV、品質、薬害教育があります。詳細は財団ホームページ「認定制度」をご覧ください。

本研修会は 登録単位 全分野：1単位

認定単位 PV・MA分野：2単位

が、付与されます。

4. 注意事項

- * 振込依頼書のご依頼人欄には、必ず**受付番号と受講者氏名(カタカナ)**をご記入ください。お申込み後に返信メールが届かない場合にはご連絡ください。
- * 受講料をお振込みの上、ご参加ください。原則として、電話、FAX.での受付及び当日受付はいたしませんのでご了承ください。
- * 現金送金をご遠慮願います。
- * 受講料受領後の払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。
- * お振込みの控えをもって領収書に代えさせていただきます。
- * 個人会員の方、レギュラトリーサイエンス エキスパート認定登録者の方は、ご本人の出席に限ります。
- * 当日、許可された方以外の撮影及び録音はご遠慮願います。

5. 問い合わせ先

一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 研修担当；電話 03-3400-5644

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 / <http://www.pmrj.jp>

演題、講師、時間等一部変更する場合がありますので、予めご了承ください。